

「Jump into Another World~台湾の高校生との国際交流~」

1-1 背景

両校が連携することになった経緯

台湾を、もっと身近に感じよう!

(1) 未知の領域に踏み込むための素地を作る

矢部高校では、スーパーグローバルハイスクールとして昨年度から台湾の姉妹校である「国立臺北科技大学附属桃園農工高級中等学校」と複数回にわたり一人一台配付された端末を使用し、オンライン交流を行ってきており、今年度は「SDGs(持続可能な開発目標)」をテーマに交流することが決まっていた。

熊本工業高校は、課題研究等の中で「SDGs」が含まれた内容もあり、グローバルな人材の育成が必要とされる中、TSMCの県内参入でさらに海外に向けて発信できる機会を設けたいという思いがあった。

矢部高校の姉妹校(台湾の高校)は農業系学科・工業系学科で学ぶ生徒があり、両校の生徒にとってOne Teamとして最適なパートナーであると判断した。

(2) 社会背景の変化

熊本県菊池郡菊陽町にTSMC(台湾)という世界最大手の半導体製造メーカーが誘致、現在建設されていることを受け、グローバルな視点を持ちながら製造業に携われるような、新たなものづくりの担い手の人材育成が急務である。

そこで、台湾文化への理解を深め、国際的な視点に立って生徒の国際感覚を涵養することも今回の取組として含まれる。

1-2 チームを構成する高校

熊本工業高等学校 工業化学科

矢部高等学校 食農科学科 林業科学科 普通科

1-3 実施期間

令和4年5月~令和5年2月まで3回交流

2 取組内容

校内見学の様子

(1) 矢部高校との交流及び研修会

矢部高校が熊本工業高校を訪問し、他学科の設備や学習内容を深める機会を持った。また、台湾という国について共に学習する機会をもった。

○日時: 令和4年8月22日(月) 10:00~16:30

○実施内容:

- ・各校代表挨拶、学校紹介、校内見学、自己紹介等
- ・おもしろ化学実験
- ・地歴公民科(高山先生)による台湾についての講座
- ・電子科職員(田中卓先生)による半導体関連の講座

会議中のZOOM画面



おもしろ化学実験の様子



自己紹介プレゼンテーションの様子

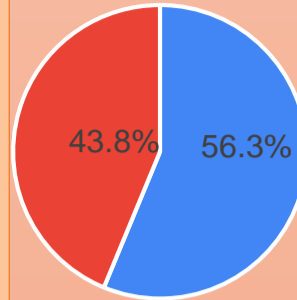


会議中の様子

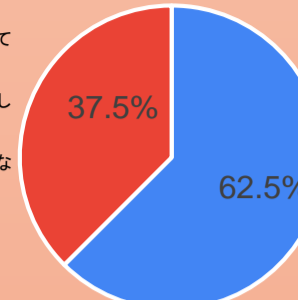
○実施後の振り返り

実施後アンケート結果

Q. 今回の研修にはどんな気持ちで臨みましたか Q. 台湾の人をはじめ、海外の人との交流に興味を持ちましたか



- とても楽しみにしていた
- ある程度楽しみにしていた
- あまり楽しみではなかった
- 全く楽しみではなかった



- 大変興味がある
- ある程度興味がある
- あまり興味がない
- 全く興味がない

Q 高山先生の「台湾に関する講義」を聞いて考えたこと、もっと知りたいと思ったことなどを記述してください。

・台湾の歴史や現在の様子について理解を深めることができました。高山先生は「現状維持をするのではないか」と言われていましたが、実際に台湾が今後どうなっていくのかに関心を持っていきたいと思います。

Q 田中先生の「半導体に関する講義」を聞いて考えたこと、もっと知りたいと思ったことなどを記述してください。

・TSMC がどれだけすごい会社なのかがわかりました。半導体を作る工程に前工程などがあることなどは初めて知ったので新たな学びになりました。

(2) オンライン国際交流

台湾の国立臺北科技大学附属桃園農工高級中等学校と「SDGs 達成に向けての取組」をテーマにオンライン交流会を行い、各地域・各学校で日頃取り組んでいる学習内容やその成果について意見交流を行い、国家間・学校間での共通点や相違点についての学びを深めた。

① 第1回オンライン国際交流会

○日時: 令和4年6月9日(木) 午後15:30~17:00

○実施内容:

- ・opening(各校挨拶・職員紹介など)
- ・熊本工業高校のプレゼンテーション(学校紹介)
- ・矢部高・桃園農工のプレゼンテーション(林業・SDGs 関連)
- ・SDGs 全般に関するディスカッション
- ・ブレイクアウトセッションにてディスカッション

○実施後の振り返り

熊本工業高校にとっては初めての交流会参加であり、主に学校紹介・自己紹介を行った。交流会の雰囲気を知り、矢部高・桃園農工による英語でのプレゼンテーションに圧倒されていた。また、SDGs 全般に関するディスカッションの時間では、主に桃園農工の生徒が活発に発言していた。ブレイクアウトセッションの時間では、各生徒が英語にてコミュニケーションをとったが、時間が足りない、もう少し話す時間が欲しいという要望があり、次の会議では時間構成を改善しようと決まった。

②第2回オンライン国際交流会

○日時：令和4年10月17日（月）午後3：30～5：00

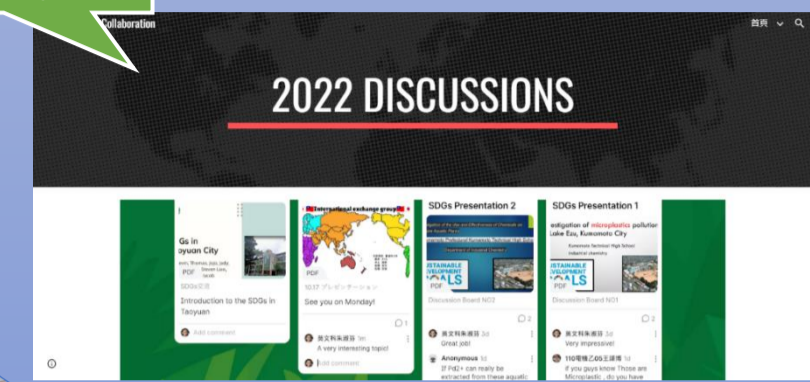
○実施内容：

- ・opening（各校挨拶・職員紹介など）
- ・熊本工業高校のプレゼンテーション発表（マイクアップ・スナック・外来水草）
- ・桃園農工・矢部高校のプレゼンテーション各1件（林業・SDGs 関連）
- ・プレゼンテーションに関するKahoot game
- ・ブレイクアウトセッションにて各校生徒がディスカッション

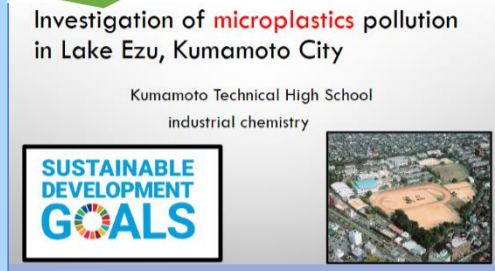
自己紹介ボード



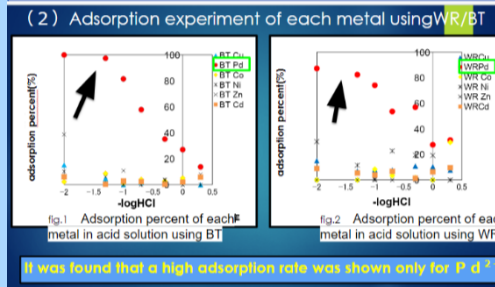
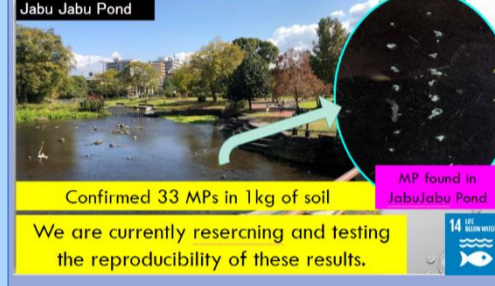
ディスカッションボード



熊工発表スライド



矢部高校発表スライド



○実施後の振り返り

前回の会議で各校のプレゼンテーションに関する質問に対し、回答を行った。また、会議のまとめとして、桃園農工・矢部高校がSDGsに関するプレゼンテーションを行った。最後の交流会であったので、ブレイクアウトセッションの時間を増やし、生徒同士がコミュニケーションをより多くとれるように配慮した。「来年は、新型コロナが収まって自由に国を行き来できるようになり、3校の生徒達がFace to Faceで交流できるように。」と願い、会の終わりを迎えた。堂々と発表することができた。生徒の自信となったように実感している。

(3) 菊陽町役場訪問及びJASM建設現場見学

TSMC (JASM) について、現場見学や採用担当者からの講話を聞き、熊本を取り巻く現状について学習した。

- ・移動途中に建設現場の車窓見学
- ・菊陽町役場による講話
- ・JASM 職員による講話

JASMへ質問する様子



○実施後の振り返り

各校が行っているSDGsの取組について発表した。発表内容については、google site上に作成したディスカッションボードにて事前に周知していた。さらに発表についての理解を深めるため、Kahoot gameを行った。生徒の正答率はまちまちであったが、楽しく学ぶ時間となった。また、発表内容についての質問がいくつも挙がったため、次回の会議までに各自の質問をまとめ、前述のディスカッションボード上に載せることとなった。熊本工業高校の生徒にとっては、はじめてすべて英語でのプレゼンテーションであり、準備が大変であったが、ALTや英語科の協力もあり、堂々と発表することができた。生徒の自信となったように実感している。

会議中の様子

Kahoot gameの画面

③第3回オンライン国際交流会

○日時：令和4年11月17日（木）午後3：30～5：00

○実施内容：

- ・opening（各校挨拶・職員紹介など）
- ・前回の交流で行ったプレゼンに対する質問への回答発表
- ・SDGsに関する各校の取組についてさらに議論を深める
- ・ブレイクアウトセッションにて各校生徒がディスカッション

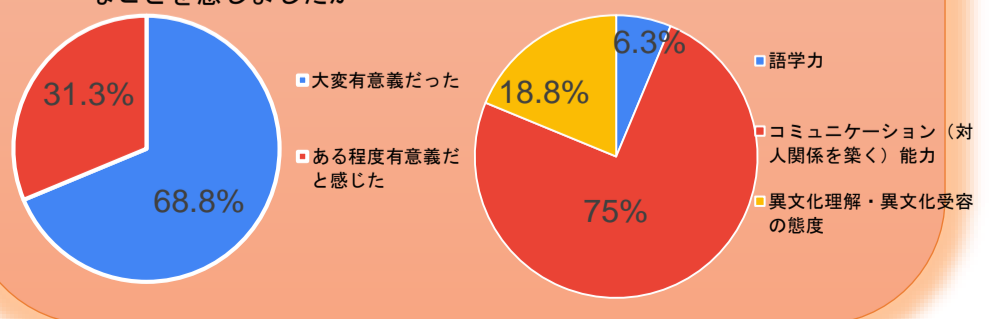
共有した google site



○実施後の振り返り

菊陽町役場へ行き「台湾の人と共生していくコミュニティをどう実現していくか」をテーマに菊陽町役場様やJASM様に講話をいただき、国際的企業での人材や国際感覚の育成など、多くを学びがあった。この機会ですんだ事を、今後の台湾の高校生との国際交流に活かしたい。

実施後アンケート結果
Q. 今回のOneTeamに参加してどんなことを感じましたか
Q. 今後、海外の人とパートナーシップを築く上で、どんなことが一番大切だと思いますか



Q 菊陽町役場の方から話を聞いて、感じたこと、考えたことなどを記述してください。

- どうして熊本県の菊陽町なのか、その理由や JASM 立地による経済効果など知ることが出来ました。台湾から来られる人たちに対する受け入れ対応などそこまで考えてなかったので関心しました。日本でもほとんど前例がない取り組みと聞き、大変な挑戦だなと思いました。これからもっと全国的にも注目されていくのではないかと思います。

Q JASM (TSMC) の方から話を聴く中で、感じたことや考えたことを記述してください。

- グローバルな会社にはやはり英語が必要だというのが印象に残っています。またお互いの文化の違いを理解し合い思いやることで、国の壁を越えてみんなで働くことが可能になるのだと感じました。

Q 今回の交流全体の感想を記入してください。

- とても貴重な体験になったと思います。今まであまり関わることのなかった熊工について知ることができて、矢部高との違いを感じることができました。また熊本県内に台湾が親会社の大きな工場ができるということもなんとなく知ってはいたけど、今回様々な方の話を聞くことでよりいっそう理解を深められました。難しい内容ではあったけど、ここで学んだことをなにか今後に活かしていければいいなと思っています。とても楽しい交流会でした。

(4) 台湾への留学生(卒業生)による講話

○日時：令和4年7月14日(木) 午前10時～11時

○実施内容：

- プレゼンテーションソフトを使用した講話
- 中国語講座



講話の様子



中国語講座

○実施後の振り返り

台湾に現在留学している熊本工業高校の卒業生の講話をとおして、異国の文化や歴史等を学んだ。具体的には、日常生活の実体験や異国文化について、外国の視点から見た日本、外国で生活する中で苦労している点などを伺うことができた。また、簡単な中国語(挨拶や自己紹介)を教えていただき、今後の交流の際に使おうと話した。貴重な時間となった。

3月に矢部高校に来られることになりました！